

明るくつよくおもしろい校訓を

1 学校教育の努力点とその推進計画

テーマ 『学びの笑顔と温かな心があふれる生徒』 ～聴こう、訊こう、伝えよう～

学びを通して、一緒になって考え、取り組む仲間、分からないと言える仲間ができることにより、笑顔が増え、安心して生活することができるようにしていきたいと考えます。

(1) 学びの笑顔とは

どの子も、より良い自分になりたい、未知のことを学びたいという気持ちをもっています。

学びとは、じっくり考えないとすぐには答えが出ないような課題、自分一人の力では解決できないような課題について、教科書やそれ以外の資料を使って考えていくこと。また、仲間の考えを聴いたり、自分の考えを友達に伝えたりしながら解決を目指していく過程や結果からの、新たな発見や気づきを学びと考えます。

学びの中で、「できた」「分かった」「気付いた」「解けた」「記録が上がった」とときには笑顔になります。また、分かることができなくても、考えたときの喜び、仲間と一緒に取り組んだときの喜び、全力で取り組んだといったときの喜びもあります。このように、学ぶことによって出てくる笑顔がたくさん現れる場面を、「学びの笑顔あふれる」と捉え、このような場面を創造していきたいと考えます。また、このような場面が増えていくことで、結果的に学力の向上につながると考えます。

(2) 温かな心とは

学び合う仲間関係づくりには、「温かな心」が欠かせないと考えます。自然に挨拶を交わす、困っている仲間に声を掛けるなど、周囲の仲間の気持ちを考えた行動ができるようになることで、集団としての成長も促していきたいと考えます。

(3) 目標を達成するための手だて

① 授業づくり

ア 学びの笑顔を生み出す授業づくりについて、各教科での実践（主体的な学習につながる題材、課題設定、発問、形態の工夫）

イ 教師間で授業を参観し合う参観週間の計画と実施

ウ 一人一回の授業研究と授業研究のまとめの発行

② 学びの環境整備

ア 基本的な生活習慣を確立し、安定した生活をめざす

チャイム始業、身だしなみ、授業の約束事（けじめのある授業）など

イ 学びを生み出すための整然とした環境整備

整理整頓、清掃の強化

ウ 学級経営

温かい人間関係づくり

③ 行事での取り組み

仲間と課題解決に向けて考える、仲間と一緒に取り組む、全力で取り組む場面など

④ 道徳の授業の充実

教科化に向けての計画的な授業

- ・ 年間計画に基づいて、学年・学級で計画
- ・ 授業内容の工夫や授業の進め方に関する情報交換

(4) 今年度の重点項目 ～教職員の積極的な授業研究への参加
と学びの環境整備の意識向上～

- ① 教職員の積極的な授業研究への参加
 - ・ 初任研、5年研、10年研への積極的な参加
 - ・ 自分の教科、自分のクラス(生徒理解のため)へのより積極的な参加
- ② 学びの環境整備の意識向上
 - ・ ごみを出さない、ごみを拾う、汚れに気付いたときに清掃する。(自主性)
 - ・ 美化委員会主導の美化意識向上活動
- ③ めざす具体的な生徒の姿

～学びの笑顔～

- 仲間に『分からない』『教えて』とすることができる。
- 訊かれたら、分かるまで丁寧に教えてあげることができる。
- 意見を言っている人を見て、考えながら聴き、反応することができる。
- 難しい課題に仲間と考えを出し合って解決しようとするすることができる。
- 自分の気持ちや意見を『伝える』ことができる。

～温かな心～

- 家族、仲間や先生、お世話になっている方々に対して、いつでもどこでも自ら気持ちのよい挨拶ができる。
- 困っている仲間に温かな声を掛けることができる。
- 困っている仲間に手を差し伸べることができる。

- ④ 道徳の授業の充実
 - ・ 教科化に向けての計画的な授業と授業内容や授業の進め方の蓄積・共有
 - ・ 積極的な授業研究の実施と参観

(5) 努力点推進の計画

月	推進委員会(必要に応じて開催)	全体会・部会		実践				
4	努力点の設定と計画立案	全体会	各部会 現職教育 教科部会	推進計画の立案(各部, 教科部会) 目標設定 教科目標・研究計画の立案				
5		学年会						
6		教科部会	学年会					
7	1学期のまとめ	教科部会	学年会					
8				日常生活	学校行事・学 年行事	教科・道徳・ 総合	教科部会・学 年会	現職教育
9		学年会	各部会					
10		教科部会	学年会					
11		学年会						
12	2学期のまとめ	教科部会	学年会					
1	アンケートの実施と その分析		各部会					
2	一年間のまとめ	教科部会	全体会					
3	次年度への展望	全体会						